【2019 年度助成先事業終了報告】

① 公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

「災害時外国人支援体制整備事業」

事業内容

1.災害時における(外国人)住民支援のための災害時外国人支援サポーターの育成(本島・宮古島)

2.外国人被災者支援のための「オンライン避難者登録フォーム」活用セミナー

3.避難所運営訓練及び多言語支援センター開設運営訓練の実施

4.災害危機管理シンポジュウムの開催

上記の事業を開催しました。

災害時外国人支援サポーター養成講座（本島）

避難所運営ゲーム（HUG）訓連の様子①

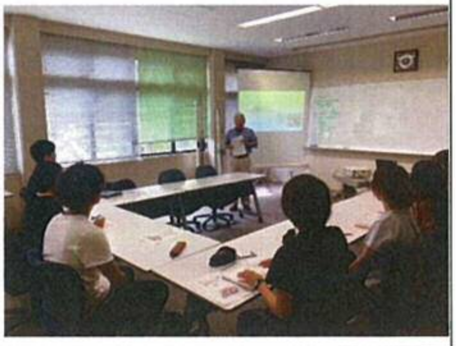
【講義】サポーターのこころのケアーGMAT 医療の現場から

② 特定非営利活動法人　レキオウィングス

「SDGs 達成に向けた次世代沖縄国際人材育成プロジェクト」

事業内容

沖縄県内の大学生を中心とした若者に対し、国際交流・国際協力に係る担い手となるよう育成する事業で、本事業を通じて次世代沖縄の中核となる国際性に富む人材を育成する事業を実施しました。



安和理事長挨拶

西原氏講義

ワークショップ

③　沖縄県空手道連合会

「国際交流・沖縄伝統空手国際セミナー開催事業」

事業内容

今回は、沖縄伝統空手のユネスコ世界遺産登録実現推進を目的にセミナーを開催し、海外5カ国18人が空手発祥の地にて鍛練修得し、沖縄三大流派の少林・小林琉、剛柔流、上地流の各講師にて指導を行いました。

国際交流・沖縄伝統空手国際セミナー

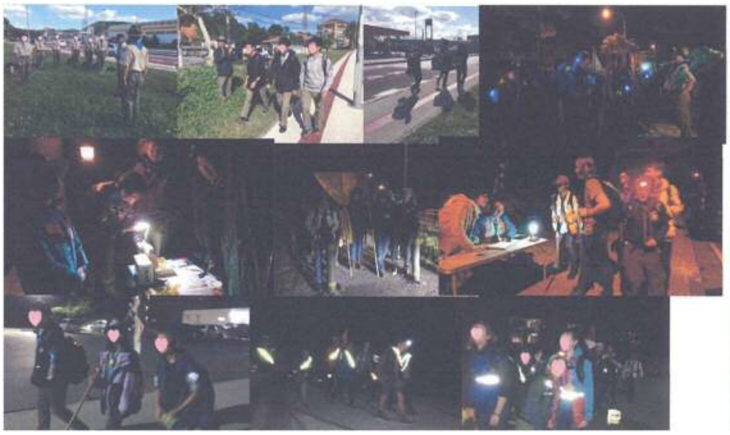
④　一般財団法人日本ボーイスカウト沖縄県連盟

「令和1年度キャンポリー・第24回　オーバーナイトウォークラリー開催事業」

事業内容

令和1年度キャンポリーは、2019年11月9日(金)～11日(日)県内在住の日米スカウトが2年に1度、キャンプ、ゲーム、協議等の合同プログラムを行い、国際交流とスカウトの友情を深める活動でトリイステーションにて開催しました。

オーバーナイトウォークラリーは、2020年2月1日(土)～2日(日)県内在住の日米スカウトが、オーバーナイトで長距離ハイクを行い、安全・健康・食事・国際交流・チームワークについて学びました。



⑤　IAPE(イアペ・外国人児童生徒保護者交流会)

「26 回沖縄へルーツを探る旅開催事業」

事業内容

沖縄にルーツを持つ児童生徒及び保護者全員が親戚を訪ねることができ、親戚のつながりを確かめ旧交を温めたりすることで、繋がりの温かさを確かめることができました。

沖縄にも南米にもつながっている自分の多様性を自覚し、アイデンティティーの確認にもつながっています。

⑥　特定非営利活動法人沖縄県自立生活センター・イルカ

「地震被災障害者のエンパワメント研修事業】」

事業内容

本事業を通し、ネパールからの研修生にとっては福祉先進国と呼ばれる日本からの技術支援を伴いながら、重度障害者の地域生活支援の取組み手法のモデルケースとして示すことができ、今後沖縄の自立支援・障害者運動を担う若手当事者にとっては、ネパールの当事者からエンパワメント、多文化の共生と理解を深め合うこと、制度を作る過程などが見えることで知識だけに頼らない経験を得ることができました。

那覇自立生活センターで精神障害者地域生活の支援について研修

那覇バスターミナルで運転手向けの研修を参加した様子

⑦　宮里大八　(宮里大八国際交流基金)

「Okinwan Dreams　Project」

事業内容

今回のプロジェクトでは、沖縄における児童養護施設やひとり親家庭等の子どもたちを対象に、沖縄では得られないアジアでの人々や文化にふれる機会を提供しました。

応募した 7 人の中高生の中から 2 人の中高生が選抜されました。2 人には英語によるコミュニケーションを高めてもらうため、英語教材のスピークナチュラルを提供し、3 週間、英語教材で英語のトレーニングをしました。

その後、2 週間のインドネシアでのインターンシッププログラム、海外家庭へのホームステイを体験しました。

⑧　宮良多鶴子

「第 9 回日本・東ティモール生徒交流プログラム事業」

事業内容

第 9 回日本・東ティモール生徒交流プログラムは、2019 年 10 月 23 日から 11 月 11 日まで 20 日間、沖縄県熊本県、福岡県にて交流を実施しました。

交流メンバーは、中学生男女各 1 名(男子は修道会が支援する孤児、女子はコーヒー農園で労働している生徒)

各県では、小中高等学校、児童養護施設、紅型工房、空手道場、陸上自衛隊東ティモール PKO 参加隊員等と交流を実施しました。

⑨　沖縄スリランカ友好協会

【第３回沖縄スリランカ教育交流事業】

事業内容

今年度は国連が「子どもの権利条約」を採択して 30 周年である。子どもの非行、いじめや問題行動に関する悩み相談が増えている。子どもたちが今直面している問題をテーマに子どもに寄り添う形の社会の在り方と教育について共に考えるために公開シンポジュウムを開催した。スリランカから学校教論１名と子ども問題に詳しいジャーナリスト１名を招へいし日本の教育関係者１名と沖縄の児童館の運営責任者１名をまじえて座談会を開催した。また、一般参加者を含めた交流会を行い、参加者同士の出会いと交流、そして更なる交流の発展の機会を設けることができた。

2019年11月7日 中部商業高等学校の見学と校長先生との面談

2019年11月8日 沖縄大学の学生との交流会